

# 序

新潟市立図書館には 沼垂図書館と舟江図書館と山、下閲覧所がある。両館ともよく利用されており、来館者は日々増加の傾向をたどっている。楽しく読書にひたり学習にも余念のない小中学生、真剣に勉学にとりくむ高大学生、次々と本を借りにくる一般の人たちで、図書館は地域の人になくてはならない文化機関になっている。

しかし、図書館運営は現在の来館者で満足し終るべきでなく、地域一般の人たちがどれほどの読書意識をもっているか、そして図書館をどれほど利用しているか等の実態を知っておくことが大切であり、その上に経営施策が立てられるべきものとの理由から、このたび来館者を対象として読書調査を行い、更に宮浦・東新・山、下・藤見・舟栄中学校の生徒に託して沼垂・山、下・舟江地区の人の読書調査と図書館利用調査を行った。

実施期日 昭和五十一年九月一日より

調査人員 小中学生・兄・姉・父・母・祖父・祖母の数を一応きめてアンケートしたが、下記の回答数をまとめることができた。

	来 館 者		地 域 人
	小中学生室	一 般 室	
沼垂	107 { 小 44 中 63	151 { 男 77 { 学生 95 女 74 { 学生外 56	224 { 男 120 { 学生 46 女 140 { その他 178
山、下	38 { 小 21 中 17	50 { 男 35 { 学生 23 女 15 { 学生外 27	96 { 男 47 { 学生 26 女 49 { その他 70
舟江	149 { 小 92 中 57	145 { 男 73 { 学生 70 女 72 { 学生外 75	241 { 男 122 { 学生 51 女 119 { その他 190
計	294	346	561

次頁以下に記すような貴重な数があらわれ、来館者ならびに地域人の実態を改めて認識した次第である。折衷の資料を有効に生かして期待される市民の図書館になるように職員一同努力を望んでいます。何分の御指導を賜りますようお願いいたします。

沼垂 兼 舟江図書館長

沢 村 洋